



## ごあいさつ

1月15日、令和3年三重県議会が341日間を会期として開会しました。皆様、いかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症の拡大に歯止めがかかりません。用意されている病床が50%以上ふさがり状態がうまれ、医療現場や保健所等、懸命に動いていただいておりますが厳しい状況です。感染のリスクを負いながら働くすべての人々に心より感謝申し上げます。いっどこで、だれが感染してもおかしくない、だからこそしっかりと感染対策が必要です。

12月4日、一般質問に立つ予定でした。ある部長のコロナ感染が明らかになり、知事はじめ答弁側の出席が困難なこともあり、当日の朝の本会議で延会が決定されました。すべて準備は整い、さあこれから、という時にまさかの延期！・・・2月26日に一般質問に立つことになっています。

令和3年度予算策定に向けて議論が始まっています。豚熱が伊賀地域で年末に発生し、年末年始を問わず対応、鳥インフルエンザが岐阜県で発生し危機感が高まっています。コロナ対応はもちろんのこと、命と暮らしを守る取組に停滞があってはなりません。しっかりと取り組んでまいります。

## 令和3年度当初予算に向けて

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

医療・検査体制のさらなる充実、クラスターに備えた医療施設や社会福祉施設、学校や避難所等における感染防止策等の着実な推進

### 「命と経済の両立をめざすみえモデル」の基本的考え方にに基づき

中小企業・小規模企業の事業継続への強力な支援、サプライチェーンの強化、農林水産業の多角的な販路拡大、県内での宿泊・周遊の促進による観光需要の拡大

### 新しい働き方・暮らし方の創造

デジタルトランスフォーメーションの推進によるテレワークやワーケーション

(デジタルトランスフォーメーション：DXと表記し、デジタル技術を活用した社会変革の推進)  
(ワーケーション：ワークとバケーションを合わせた言葉。観光地や地方で休暇を取りつつ仕事)



会派より 知事に予算政策要望中

これらの考え方にに基づき、各部局から総額約 8183 億円の予算要求がなされ審議中

### <みんなつくる予算(みんなできつろか みえの予算)>

2回目になる県民参加型予算で、コロナ対策に特化し、感染症防止対策、雇用維持や新しい働き方、地方経済の再生と進化等をテーマに募集しました。昨年度の1.4倍、91件多い320件の提案が寄せられ、効果などの観点で34件に、さらに県民からの意見を参考に29件に絞り、県民投票にかけました。投票年齢を16歳以上へと、2歳引き下げ、「高校生も投票できるようにしてほしい」との声に応じました。

投票結果を踏まえ、5千万円程度の範囲内で複数事業を採用します。

### <三重県の一般職業紹介状況は?> (昨年12月25日発表の11月分 三重労働局)

- 県全体として、有効求人倍率(季節調整値)は、1.06倍。(+0.02ポイント、前月比)  
全国と同じ倍率で、全国第28位。
- 新規求人倍率(季節調整値)は、2.02倍。(+0.20ポイント、前月比)
- ハローワーク桑名管内では、有効求人倍率は、0.96倍(+0.06ポイント、前月比)  
新規求人倍率は、2.07倍(+0.49ポイント、前月比)
- 県内の雇用情勢は、求人が求職を上回っているものの、引き続き雇用情勢に厳しさがみられます。



# 差別のない三重県、 誰もが暮らしやすい三重県づくりを!!



今年度、県議会に「差別解消をめざす条例検討調査特別委員会」が設置され、委員を務めています。新型コロナウイルス感染者等に対して、誹謗中傷、人権侵害、差別等が三重県内でも大きな問題となりました。また、部落差別や外国人差別等、今までも解決されずにある課題がさらに大きく顕在化している現状があります。あらためて差別の解消に向けた取組が県議会に求められています。



三重県では、平成9年に「人権が大切にされる三重をつくる条例」が策定されています。この条例に基づいて、人権施策基本方針が定められ、行動プランが作られ、人権が尊重される社会づくりに向けて具体的な取組が進められてきました。しかし、インターネットをはじめとする環境の変化や、国における差別解消3法の策定などの社会状況の変化もあり、新たな条例制定も視野に入れて調査を進める必要があります。

令和2年3月発表、人権問題に関する三重県民意識調査報告書では、「差別は法律で禁止する必要がある」と考える県民の割合は、68.2%（平成24年比+5.1%、平成16年比+9.4%）となっています。この調査結果から、昨今の状況において県民が差別を法的に禁止する必要性を感じていると考えられます。

差別解消3法：2016年施行 障害を理由とする差別の解消に関する法律  
部落差別の解消の推進に関する法律  
本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律

## 【今までの調査の内容】

- 7月13日 あらゆる差別 公益財団法人反差別・人権研究所みえの松村元樹さん
- 7月31日 ネット差別 (株)情報文化総合研究所の佐藤佳弘さん
- 8月24日 部落差別 部落解放同盟県連合会の松岡克己さん他2名
- 9月16日 女性差別 三重県男女共同参画審議会会長、三重大学名誉教授の小川眞理子さん
- 10月5日 外国人差別 三重短期大学法経科教授の楠本隆さん
- 10月14日 性の多様性の課題 芙蓉会会長の近藤聡さん
- 10月23日 性暴力・性被害 心理カウンセラーの柳谷和美さん



上記に加えて医療保健部、環境生活部より取組について説明を求め、条約や法律、他地域の条例についても調査を行いました。

課題整理、方向性など、具体の議論に入ろうかという段階です。インターネット中継されていますので、興味のある方は是非ご覧ください。

\*条例制定は議会の果たすべき役割の一つです。現在審議中の条例です。(いずれも今年度中に制定予定)

## ○三重県感染症対策条例(執行部提案)

三重県における今後の発生予防及びその蔓延の防止を図ることを目的に策定中。  
公衆衛生の観点はもちろんですが、差別の禁止もうたっています。

## ○性の多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例(仮称)(執行部提案)

多様な性的指向、性自認が尊重され、多様な生き方を認め合う社会をめざすとし、カミングアウトの強制やアウトティング(暴露)の禁止をうたっています。知事が言及し、注目されている「パートナーシップ制度」については最終案には記述がなされていません。第3回多様な性的指向・性自認に関する三重県条例(仮称)検討会議において、多くの委員から記述がないことに関して残念である旨の意見が出されました。所属する会派新政みえの[2021予算政策要望]には、多くの当事者や支援団体の声を受けて「パートナーシップ制度については前向きに検討すること」としています。



## ○三重の木づかい条例(仮称)(県議会三重県産材利用促進に関する条例検討会提案)

県産材等木材の利用を積極的に行うことによって、豊かな県民生活を実現することを目的とし、公共建築物・住宅や社屋への県産材等木材の利用を進めていくとしています。

# 所属する教育警察常任委員会の議論より

## 教育行政に関して

### 夜間中学等の就学機会確保のあり方について検討しています!

平成28年成立の教育機会確保法、法に基づく基本方針、第3期教育振興基本計画において、全ての都道府県に少なくとも一つ夜間中学等を設置することをめざす方向性が示されています。このような動きをふまえ、三重県における就学機会確保のあり方を検討しています。

#### 【県内の学び直しの場の状況】

- ・識字教室：8か所(市町や市町教育委員会が実施)
- ・日本語教室：34か所(国際交流協会、NPO法人等が実施)
- ・フリースクール等：13団体(NPO法人等民間団体が実施)



日本語教室「いっぽ」にて

#### 【調査と課題】

- ・2回にわたり、アンケート調査等：452件回収
- ・令和2年9月29日～11月30日の387件中、学びなおしたい：228件
- ・義務教育内容を学びたい、日本語を学びたいというニーズの違いをふまえ、両方のニーズに応えられる学びの場の設定をどうするか。など。

#### 【今後の取組】

- ・県内複数箇所で、義務教育段階の学び直し教室実施。  
令和3年度・4年度で教室の実施⇒令和5・6年度で必要性・場所等検討⇒設置の場合、令和7年度開校(遅すぎるとの指摘をおこないました)
- ・主な検討事項  
設置主体(県立?市町立?)、設置場所、教職員配置、教育課程、対象者
- ・設置されている検討委員会において、今年度末報告書とりまとめ予定

# 警察行政に関して

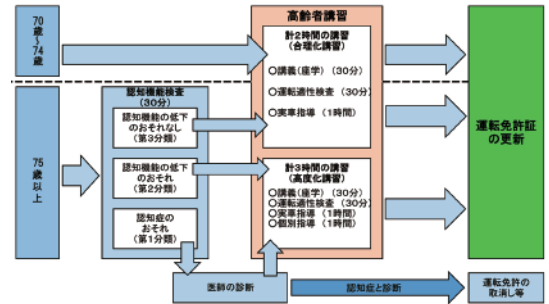
## ご高齢の皆さん、交通事故にご注意を!

人身事故は、令和2年11月末2,710件、令和元年11月末3,346件と636件減少していますが、死者数は69人と同数。うち24人が歩行中で、その中の17人が高齢者となっています。日没時刻が早く、薄暮時はたいへん見にくいので十分な注意が必要です。

## 免許更新時の流れはこのようになっています。

### 令和2年の道交法改正では、高齢者運転対策として

- 運転技能検査の導入(75歳以上で一定の要件に該当した場合は、免許更新時に運転技能検査を義務付けます。その技能検査で一定の基準に達しない場合は免許更新ができません)
- 安全運転サポート車等限定免許の導入(令和4年6月までに施行とされています)



## 組織的な自動車盗難の防止に向けた取組～ヤード条例の制定へ!

### オークション等を通じて中古車を入手

⇒ ヤードへ搬送 ⇒ 部品取り外し、車体切断 ⇒ コンテナ詰めをして名古屋港から外国に輸出(一般的な業態)

- 県内において、ヤード約40箇所、関連施設約140箇所が把握されており、中でも愛知県内の中古車オークション会場や名古屋港に近い木曽岬町に多数立地しています。
- 木曽岬町議会の皆さんに、条例制定の請願をいただき、県議会として可決、県当局に条例制定を求めました。
- 全国の警察による自動車盗難事件の捜査過程で、ヤードが盗難車の隠匿等の場となっていることが確認されており、正しく運営されている所がほとんどですが、組織的な自動車盗難防止の観点からヤード対策を念頭に置いた条例案の検討を進めています。中間案に対するパブリックコメントを経て、2月会議に最終案が提案されます。

コロナ禍はもともと厳しい暮らしの人々にさらに打撃を与えています。女性の自死の増加が全国的に課題となっていますが、構造的に不安定な雇用で働く人が多く、中でもひとり親家庭の困窮がとても心配です。もちろん、多くの業種の方々が苦しい状況下にあります。女性や「ひとり親」「障がい者」「外国人」といった属性によってより困難な暮らしに陥っているとしたら、雇用の保障をはじめ、もっとすべき支援があるのではないかと思います。フードパントリーの活動等を持続しつつ、具体的な課題解決に向けて取り組んでまいります。



流行りの鬼滅いただきました!  
子ども達、喜びますね。

ご意見・ご要望等、お待ちしております。

# 小島とも子事務所

〒511-0068 桑名市中央町4-44 ウインズビル3F

Tel.0594-25-8182 Fax.0594-25-8183

HP <http://kojima-tomoko.com> E-mail [tomokokjm@gmail.com](mailto:tomokokjm@gmail.com)

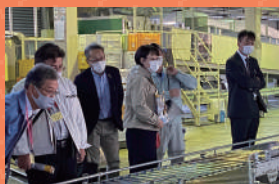


## 活動の様子

地元の行事や、グループの集まりなど、是非お声がけください。



儲かるミカンづくり。多くの工夫が!



選果場～大きき別で箱詰めまで



紀宝町の土砂崩れ現場視察



自動運転実証実験～大山田団地にて



自動車の後の移動手段



クリスマス会

子ども食堂クリスマスメニューのサンタたち